

## 2022年度 上武大学 大学院経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	法人税法演習Ⅱ		担当教員	佐々木 一義									
	英語授業科目名	Seminar on Tax Law II		単 位	4	学 期	通年							
対象年次	2年次	クラス指定		他との関連										
履修条件	大学学部での履修や実務経験等を通じて基礎的な租税法に関する知識を修得していること													
テーマ・副題	高品質の学術論文の完成に向けた準備													
授業の教育目的・目標	修士論文作成のための指導を行うが、特に、税理士法7条2項に基づいて国税審議会の認定により税理士試験の科目免除を目指す受講生のために、同上同項に規定する「税法に属する科目等」のうち「法人税法」の分野に特科した研究論文を作成するための指導を行う。													
授業の理解度の到達目標	受講生各自の問題意識に基づいて、租税法に関する上質の論文を精読することにより、法的思考力・法的问题解決能力を醸成するとともに、実践的な論文作成技法の修得を図る。													
授業キーワード	法的・論理的思考													
授業の内容	基礎から始める租税法論文の作成													
授業の方法	① テキストに基づく租税法論文作成についての講義 ② 受講生が進めている租税法論文の進捗に応じた発表と討議													
授業展開	1. 講義ガイダンス 2. 租税法論文とは(1) 3. 租税法論文とは(2) 4. 租税法論文とは(3) 5. 租税法論文研究発表と討議(1) 6. 租税法論文研究発表と討議(2) 7. 租税法論文研究発表と討議(3) 8. 租税法論文研究発表と討議(4) 9. 租税法論文研究発表と討議(5) 10. 租税法論文研究発表と討議(6) 11. 租税法論文研究発表と討議(7) 12. 租税法論文研究発表と討議(8) 13. 租税法論文研究発表と討議(9) 14. 租税法論文研究発表と討議(10) 15. まとめ 16. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(1) 17. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(2) 18. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(3) 19. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(4) 20. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(5) 21. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(6) 22. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(7) 23. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(8) 24. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(9) 25. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(10) 26. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(11) 27. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(12) 28. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(13) 29. 各ゼミ生租税法論文の個別の討議(14) 30. まとめ													
成績評価方法	課題の発表内容(60%)および授業への取組み姿勢(40%)を評価要素とする。													
成績評価基準	総合点が80点以上をA、79~70点をB、69~60点をC、59点以下をDとする。													
テキスト	適宜、レジュメを配布													
参考図書	適宜授業中に指示する。													
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	先行研究論文あるいは判例評釈について研究発表するための事前準備													
学生へのメッセージ	大学院での租税法の学習は、税法だけでなく、判例の読み方や隣接法律等、論文作成には必須なところを習得し、しばしば論文に引用される裁判例を論文に取り入れる法的知識を養う。また、論文構成や形式の一般的ルールを習得させる。公益財団法人租税資料館の「租税資料館賞」を受賞できるような高品質の学術論文の完成を期待します。													
オフィスアワー	授業前後の時間													
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線5512)		メールアドレス	k-sasaki@jobu.ac.jp									
人数制限	なし													